

## マレーシアと省エネ支援に関する第5回オンライン会議を開催しました

### 【事業概要】

一般財団法人省エネルギーセンター（ECCJ）では、経済産業省の委託を受けて今年度もマレーシアとの二国間省エネ協力事業を展開しています。令和2年度は、新型コロナウイルス感染拡大の影響により、現地への派遣や日本での研修受入の実施が困難であることから、これまで4回のオンライン会議と1回のオンライン研修を開催してきました。12月に4日間実施しましたオンライン研修結果の評価検討のために、2021年2月19日にマレーシアのカウンターパートであるエネルギー天然資源省他と第5回オンライン会議を開催しました。



#### 1. 会議出席者：

- (1) マレーシア側；エネルギー天然資源省；2名、SEDA（持続可能エネルギー開発庁）；1名、EC（エネルギー委員会）；2名
- (2) 日本側；ECCJ国際協力本部；6名

#### 2. オンライン研修のレビュー：

昨年12月に実施しましたマレーシアとのオンライン研修【BECMY7】の結果の評価につき意見交換をしました。主要確認・合意事項を以下に示します。

- (1) 研修期間：評価結果では、4日間、各4時間は妥当とのことでした。
- (2) 研修人数：当初の予定ではMax. 15名としていましたが、増員要望があり、オンラインでもありましたので、22名を受け入れました。
- (3) 参加者内訳：省エネ研修に関係する11機関から参加してもらいました。
- (4) オンライン講義：講義資料をPC画面で見ただけでは理解しにくいことが散見されたので、途中から講義資料を送付して予習・復習に供してもらいました。
- (5) 講義内容の評価：熱エネルギー理論の講義が多く難しいとか、理論の実践面での活用事例の説明の要望があり今後検討することにしました。
- (6) マレーシアのCountry Report内容の確認：策定中の省エネ法の今後のImpactにつき述べていた内容につき、エネルギー管理士や診断士の目標数の達成年度を確認しました。
- (7) 同国省エネ法関連情報：2021年末から2022年初めに議会に上程する予定で、制定されたら速やかに熱も対象としたType 2 エネルギー管理士が400名必要となることから、2021年には関連するType 2 エネルギー管理士研修システムを完成する必要があることが分かりました。